

福岡県ベンチャービジネス支援協議会

タイにおける現地情報

2021 年 12 月 13 日
 HS-TECH ENGINEERING
 橋本 真也
 Sunisa Thammaprot

【コロナ第四波の襲来(その 5)】

コロナ 3 指標(死亡者、人工呼吸器装着者、重症者)の推移(タイ全土)

図・表 1 に 2021 年 1 月から 12 月 13 日までの月間「コロナ 3 指標」の推移をヒートマップで示した。赤でハイライトした 8 月が 3 指標ともピークであった。その後、11 月の一ヶ月間で 133,061 人の外国人がタイへ入国し、その内の 171 人が PCR 検査陽性者(図・表 7)であった。ただし、12 月 13 日までの「コロナ 3 指標」に悪化傾向は見られないようだ。

図・表 1 コロナ 3 指標の推移

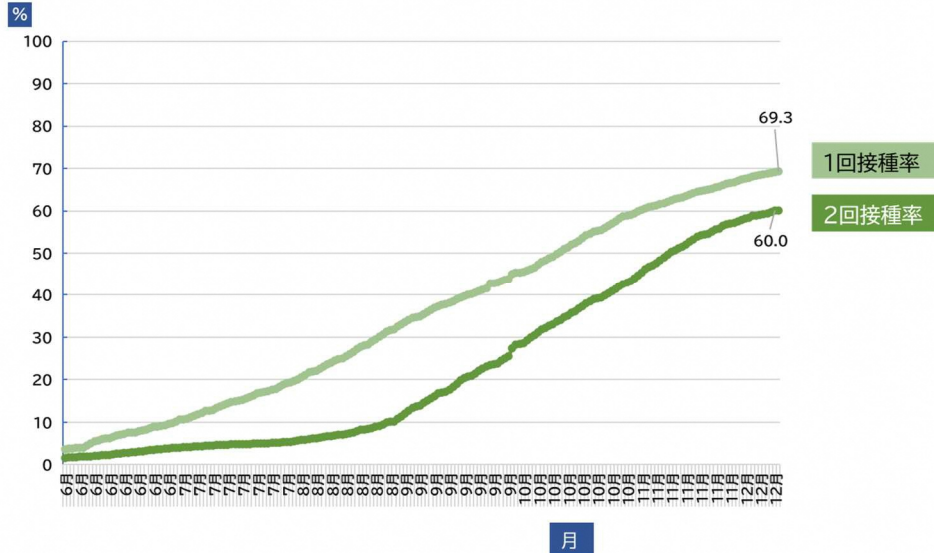
月	死者 (人)	人工呼吸器装着者 (人)	重症者 (人)	総計 (人)
1月	16	52	616	684
2月	6	241	538	785
3月	11	225	417	653
4月	109	1,766	6,371	8,246
5月	828	11,802	36,225	48,855
6月	992	12,034	41,891	54,917
7月	2,834	24,580	102,556	129,970
8月	6,732	33,951	162,140	202,823
9月	5,060	25,339	118,711	149,110
10月	2,478	19,580	85,342	107,400
11月	1,543	12,091	52,496	66,130
12月	423	4,226	15,900	20,549
総計(人)	21,032	145,887	623,203	790,122

出所: 公衆衛生省のデータから作成

ワクチン接種状況

❖ タイ全土

図・表 2にタイ全土におけるワクチン接種率の推移を示した。12月10日時点で1回接種率が69.3%、2回接種率は60.0%と、目標値の70%目前に迫ってきた。



図・表 2 タイ全土におけるワクチン接種率推移(6月1日～12月10日)

出所: 公衆衛生省のデータから作成

❖ バンコク都および主要県

12月10日時点でワクチン2回接種率70%の目標値を達成した都・県(図・表3)はバンコク都、チョンブリ県、パットウムターニ県、サムットサコン県およびチェンマイ県。70%目前まで来たのはサムットプラカン県、チャチュンサーオ県およびラヨン県。

図・表 3 バンコク都および主要県のワクチン接種率推移

都・県	ワクチン1回接種率 (%)				ワクチン2回接種率 (%)			
	9月12日	10月7日	11月10日	12月10日	9月12日	10月7日	11月10日	12月10日
Bangkok	95.2	101.5	111.3	119	36.1	56.9	91.6	105.3
Chonburi	53.7	69.6	85.1	91.5	22	46.8	73.3	83.8
Samut Prakan	57.1	67.7	77.1	81.9	21.6	44.5	61.9	69.4
Pathum Thani	57.8	65.8	78.2	82.6	20.4	46.5	63.9	75.6
Chachoengsao	59.1	69.7	79.4	85.2	22.1	38.6	59.8	68.9
Samut sakhon	52.4	65.1	82.9	91.2	26.3	43.9	66.9	80.4
Ayutthaya	46.8	54.4	62.5	66.5	14.3	40.6	54.3	62.4
Rayong	35.8	49.4	66.1	75.2	18.9	32.9	52.3	67.3
Chiang mai	29.1	42.5	72.6	87	17.1	29.4	51.1	73.4
Samut Songkhram	24.3	34.6	45.8	51.5	14.9	25.1	39.2	46.6

注) 接種率が100%を超えているのは、当初設定した人口で算出しているため。出所: 公衆衛生省のデータから作成

バンコク都およびその周辺での鉄道利用状況

都民や近郊住民の生活様式を一変させつつある鉄道(図・表 10)。我が国から多額の(有償、無償)資金協力が実施されている。以下、高架鉄道・BTS と地下鉄・MRT の利用状況について紹介する。

❖ 高架鉄道・BTS 主要区間の日間利用者



写真 1 左は 7 月のとある日曜日の午後、同僚も多数居住するバンコク都心のトンローやプロムボン界限(図・表 10 の黄色でハイライトした駅)を通過する高架鉄道・BTS 車内で撮影した。車輦はドイツ SIEMENS 社製だ。この路線付近には、大型デパート(写真 1 右)やホテル、オフィス、飲食店が立ち並ぶ

写真 1 高架鉄道・BTS 電車内(トンロー駅)、デパートの食品売り場

バンコクの商業地区。コロナ以前の週末であれば、通勤電車に近い混雑であるところ、このときは一車輦に数人しか見かけなかった。

図・表 4 にトンロー駅を含む主要区間(チャトゥチャック駅—オンヌット駅間およびナショナルスタジアム駅—サパンタックシーン駅間で図・表 10)の日間利用者数¹を示した。コロナ以前は 20.8 万人(2020 年 1 月)を記録したが、2021 年 6 月下旬に襲来した「**コロナ第四波**」以降の 8 月は 2.8 万人と、昨年 1 月に比べてわずか 13.5%にまで激減した。ただしワクチン接種率の向上もあり、8 月中旬以降は「**コロナ 3 指標**」もピークを脱し、利用者は徐々に戻りつつあるようだ²。



図・表 4 高架鉄道・BTS(主要路線)の日間利用者数

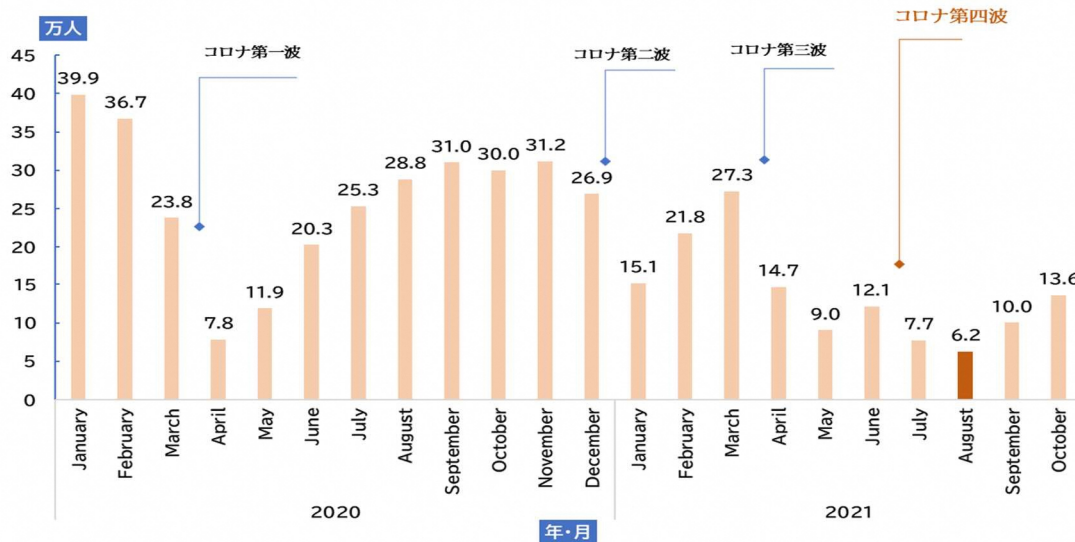
出所: [BBL ASSET MANAGEMENT Co., Ltd.](#)から作成

¹ BTS 全線における 2021 年 6 月以降の日間利用者数を確認できなかった。BTS 全線で過去最高は 2021 年 1 月の 80.6 万/日

² 12 月 12 日(日曜日)の午後、プロムボン駅付近の BTS 車内に空席はなく、30 人程度が立っている程度になった。

❖ 地下鉄・MRT 全線の日間利用者

図・表 5 に示した地下鉄・MRT 全線における日間利用者数の推移(2020 年 1 月～21 年 10 月)も、高架鉄道・BTS のそれとほぼ同じような傾向を示し、2021 年 8 月は 6.2 万人と過去最低であった。



図・表 5 地下鉄・MRT 全線の日間利用者数
出所: [Mass Rapid Transit Authority of Thailand](https://www.mrt.co.th/) から作成

❖ コロナ勃発初期の地下鉄・MRT 構内にて



写真 2 コロナ予防啓発セレモニー(地下鉄 Asok 駅構内)
2020 年 1 月 30 日撮影

2020 年 1 月 30 日、サンスクリット語のアショーカ³を語源とする地下鉄 Asok(アソーク)駅構内で、コロナ予防啓発セレモニーに出くわした(写真 2)。コロナ勃発初期とあって、和やかな雰囲気だった。

タイは熱帯特有の感染症対策に関する永年の経験がある。また世界健康安全保障イニシアティブ⁴から 2019 年 11 月、「タイは疑いなくヘルスセキュリティ分野で世界のリーダー⁵」と高く評価されたこ

ともあり、政府や国民は当時、新型コロナの徹底した「封じ込め戦略」にも自信を持っていた。振り返れば結果論であるが、過去の成功体験が新型コロナ感染症に関する各種施策の意志決定やそのプロセスに課題を残したとの見解もある。

³ インド、マウリヤ朝第 3 代の王 (在位前 268 頃～232 頃)とされる(異説あり)。

⁴ <https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/0000077771.pdf>

⁵ Page 55, Global Security Index 2019,

<https://www.ghsindex.org/wp-content/uploads/2019/10/2019-Global-Health-Security-Index.pdf>

なお、同イニシアティブによればタイは 2021 年、米国、豪州、フィンランド、カナダに次ぐ第 5 位となり、一ランクアップした [<https://www.ghsindex.org/>]。2021 年の我が国は 18 位。

日本とタイのコロナ対策(公衆衛生措置)強度

図・表 6 は 2020 年 1 月 22 日から 2021 年 12 月 6 日までの期間(ただし日本は 12 月 3 日まで)において、タイおよび日本政府が実施した**コロナ対策(公衆衛生措置)**の濃淡を**独自の強度⁶**で数値化したもの。オックスフォード大学が開発した⁷。この強度は、学校閉鎖、職場閉鎖、イベント制限、集会制限、公共交通機関使用制限、外出制限、国内移動制限、渡航措置⁸、各種施設の実効性を高める広報キャンペーンの九つの指標を統合し、1～100 のスコアにした。

2020 年 1 月 12 日、新型コロナウイルス感染者(タイ人)がタイ国内で初めて確認され、同年 3 月 26 日には緊急事態宣言を発令した時点では 68.06 の強度、その 8 日後には最高強度の 76.85 に引き上げられた。迅速で果敢な対策⁹を講じたことに対する評価なのであろう。

ところが 3 月下旬以降、「**コロナ第三波**」が襲来し、タイ全土において「**コロナ三指標**」が急激に悪化した(図・表 1)。そして 8 月 18 日、死者は最悪の 312 名に達した。その時点での強度は**コロナ第一波**に迫る 75.93 であった。ただし 8 月 31 日以降は概ね 50 位の強度で推移し、12 月 6 日時点では日本の 47.22(12 月 3 日)を下回る 40.28 との評価となった。



図・表 6 タイと日本のコロナ対策(公衆衛生措置)強度の比較

出所: [Our World in Data](https://ourworldindata.org/covid-stringency-index)、[オックスフォード大学ウェブサイト](https://www.oxford.ac.uk/)に加筆

週末の屋外ビアガーデン



健康安全認証(SHA)を受けた薬局



一欠片でタイを実感、十欠片で満喫、完食すれば悪寒と顔面に鈍痛を覚える。

⁶ <https://ourworldindata.org/grapher/covid-stringency-index?tab=chart&country=USA-GBR-CAN-FRA-ITA-DEU-JPN-CHN-IND-IDN-THA>

⁷ 阿部圭史、『感染症の国家戦略: (日本の安全保障と危機管理)』、東洋経済新報社、2021 年、(電子ブックには該当ページ番号が表示されず。)

⁸ 阿部は渡航措置を渡航勧告、検疫、隔離、渡航制限(出入国地点の集約化、入国制限、出国制限)の 4 つに区分した。

⁹ 例えば、P41-42, Annex Table A.1: Overview of Thailand's Planned COVID-19 Relief Measures, THAILAND ECONOMIC MONITOR, July 2021, WORLD BANK [<https://www.worldbank.org/en/country/thailand/publication/thailand-economic-monitor-reports>]

11月の入国者数とPCR検査陽性者

11月1日から30日までの期間において、タイへの入国者数は133,061人(図・表7)で、米国人が最も多く14,730人。ドイツがそれに続く12,099人。邦人は6番目の5,146人。PCR検査陽性者数は171人で陽性者比率(比率)は0.13%。比率が最も高かったのはロシアの0.38%、イギリスがこれに続く0.31%。一方、日本人陽性者は3人(比率0.06%)であった。

図・表 7 入国者数とPCR検査陽性者

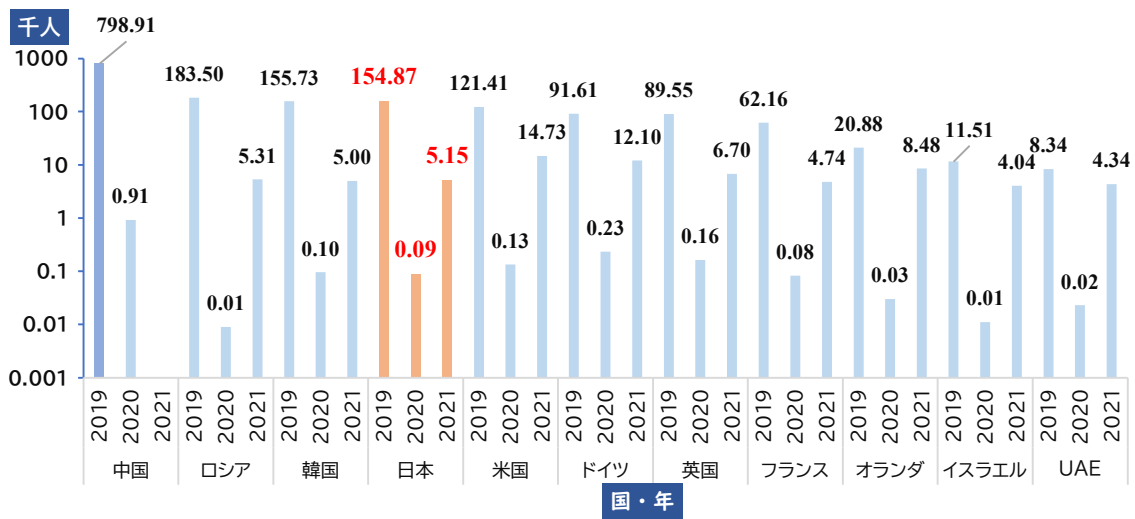
国	入国者数(人)	PCR検査陽性者数(人)	陽性者比率(%)
その他	62,483	64	0.10
米国	14,730	21	0.14
ドイツ	12,099	13	0.11
オランダ	8,478	7	0.08
英国	6,701	21	0.31
ロシア	5,307	20	0.38
日本	5,146	3	0.06
韓国	5,003	2	0.04
フランス	4,741	7	0.15
UAE	4,338	11	0.25
イスラエル	4,035	2	0.05
合計	133,061	171	0.13

陽性者比率が0.1%以上の場合、赤でハイライトした。ただし、中国人のデータは確認できず。

出所：観光・スポーツ省のデータから作成

過去三年間における11月の入国者数(主要国)

図・表8に過去三年間の11月単月における主要国からの入国者数を示した。中国人の入国者が最も多く、2019年11月の798.91千人(最高値は2019年1月で1,092.43千人)。2019年の月間入国者数はおおよそ3,317千人¹⁰であることから、今年の11月の入国者数(133.061千人)は2019年のわずか4%に過ぎない。なお、中国人の今年11月データは確認できなかった。



図・表 8 11月単月の入国者(2019年～2021年)

出所：災害管理局、スポーツ観光省、入国管理局のデータから作成

¹⁰ 2019年の総入国者数は39.8百万人で、中国人がそのうちの27.6%を占める10.99百万人

経済の一側面

❖ バンコク都内 Bang Sue(バンスーウ)地区開発と国鉄・Red Line(レッドライン)の営業運行開始

Bang Sue(バンスーウ)地区開発(図・表 9)の拠点となる Bang Sue 中央駅に直結するタイ国鉄(SRT:State Rail Way of Thailand)・レッドラインが 11 月 29 日、営業運行をスタートした。



図・表 9 バンコク都内 Bang Sue 地区開発・完成予想図(2032年)

出所: [JICA Thailand at a Glance](#), October 2020



Red Line, Lak Si 駅



車輦には HITACHI の銘板
Bang Sue 中央駅



Red Line, Lak Si 駅

SRT RED LINE(筆者が乗車時は無料開放中)図・表 10
10 駅、26.4km で営業運行をスタートした。プロジェクト費用
(3,320 億円)の約 81%にあたる 2,680 億円が日本の円借款として
投入された。

信号システム、アルミニウム合金製の軽量車輦のほか、鉄道システム一式の設計・建設(土木を除く)を日本企業連合(重工、日立、住商)が一括で請け負った。日本から多額の有償資金協力が実施される中、我が国が受注し、運行にこぎつけた意義は計り知れない。在留邦人としての誇りだ。

今年度中の日間利用者数は約一万人、来年は三万人を見込む。ドーンムアン国際空港とも接続された。

バンコク点描



ローイクラトン

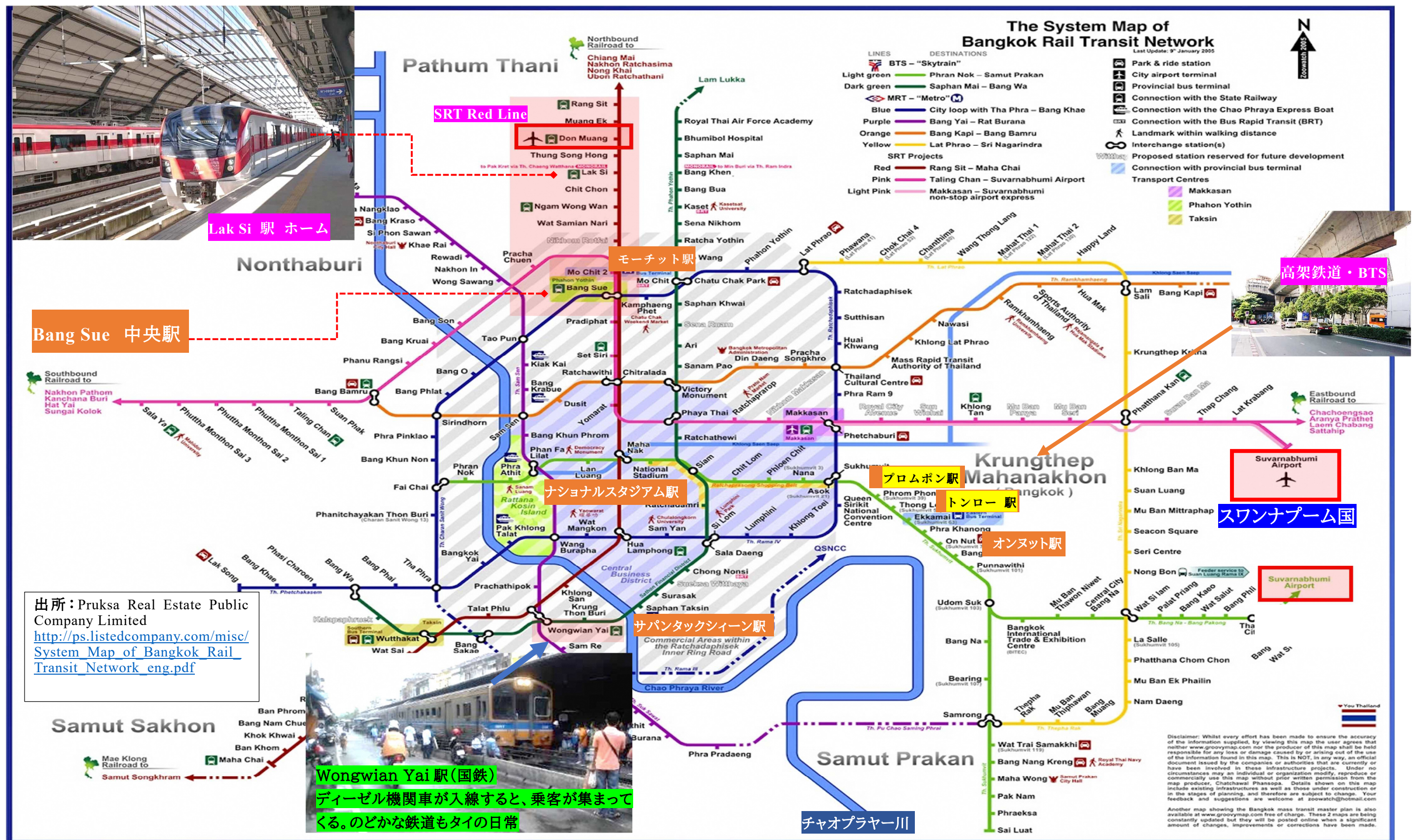
花や灯明で飾った盛り籠を川に流し、身についた汚れを清める仏事。毎年 11 月、満月の夜に行われる。5 人以上の集いが禁じられていたこともあり、コロナ以前の賑わいには至らず。



平日・昼時のプロムボン地区

スクムウィット大通りに面した北京ダックも提供するタイ中華の G 店とその前の出店。弁当も並ぶ。右端の階段は高架鉄道・BTS プロムボン駅へ通じる。

写真: コロナ以前に撮影、2021 年 11 月から 12 月に撮影



図・表 10 バンコクおよびその周辺の路線図(計画中を含む)